



FOREX WEEKLY REPORT

2017年11月13日

(株)新生銀行 市場営業部
SFXM-1711137549

I. 先週の動き

通貨			東京市場			海外市場			終日	
			始値	安値	高値	安値	高値	終値	安値	高値
ドル円 高値 114.73 安値 113.09	11/6	月	114.03	114.02	114.73	113.70	114.43	113.71	113.70	114.73
	11/7	火	113.71	113.70	114.18	113.82	114.34	114.01	113.70	114.34
	11/8	水	114.01	113.65	114.01	113.40	113.90	113.87	113.40	114.01
	11/9	木	113.87	113.45	114.07	113.09	113.69	113.47	113.09	114.07
	11/10	金	113.47	113.27	113.58	113.22	113.63	113.53	113.22	113.63
ユーロ円 高値 133.12 安値 131.40	11/6	月	132.45	132.39	133.12	132.00	132.80	132.01	132.00	133.12
	11/7	火	132.01	132.00	132.40	131.85	132.33	132.10	131.85	132.40
	11/8	水	132.09	131.81	132.14	131.40	132.16	132.03	131.40	132.16
	11/9	木	132.03	131.64	132.25	131.53	132.23	132.10	131.53	132.25
	11/10	金	132.10	131.97	132.22	132.02	132.54	132.44	131.97	132.54
ユーロドル 高値 1.1678 安値 1.1553	11/6	月	1.1616	1.1596	1.1623	1.1580	1.1616	1.1610	1.1580	1.1623
	11/7	火	1.1610	1.1586	1.1616	1.1553	1.1594	1.1587	1.1553	1.1616
	11/8	水	1.1587	1.1585	1.1607	1.1579	1.1611	1.1595	1.1579	1.1611
	11/9	木	1.1595	1.1586	1.1616	1.1590	1.1655	1.1642	1.1586	1.1655
	11/10	金	1.1642	1.1633	1.1654	1.1623	1.1678	1.1665	1.1623	1.1678

◆先週の動き

【11/6】週明けの東京市場のドル円は114.20近辺から寄り付き。連休明けのドル需給が不足に傾き東京公示仲値に向けドル円が上昇。仲値後、短期上値抵抗線であった114.50を上抜けるとストップの買いを巻き込みながら114.73(高値)まで上伸するも滞空時間は短く114円台前半まで反落。欧州時間に入り米10年債利回りが低下する中でドル円は114円を割り込む場面があるも、材料難の中114円台前半での膠着がNY時間まで続いた。NY時間午後、サウジアラビアの王族拘束との報道を受けて原油価格が急騰し、為替市場では豪ドル・カナダドル・NOK等の資源国通貨が上伸したことで主要通貨に対しドル売りに転換。ドル円は再度114円を割り込み113.70(安値)まで下落し安値圏で引けた。又、NY連銀ダドリー総裁は「2018年半ばに任期満了を待たず引退」との報道が、次期パウエルFRB議長の政策遂行能力の不透明感に繋がり米長期金利低下を招いた模様。東京時間のユーロドルは高値の1.1623をつけたものの、1.16台前半で小幅推移となった。欧州時間には欧州債利回り低下を受け1.1580(安値)まで下落するも、NY時間午後、原油上昇を起因としたドル売りで1.16台まで値を戻した。終日を通し動意無い展開であった。一方でユーロ円は東京時間午前ドル円の上昇と共に133.12(高値)まで上伸するも、終日じり安傾向が続くNY時間午後には132.00(安値)まで下落安値圏で引けた。

【11/7】昨日の東京市場は日経平均株価は小安く寄り付いたものの、東京市場を通じて堅調に上値を伸ばし22,900円台と1992年以来の高値を記録。為替市場は本邦株高を受けたリスクオン相場の円売り地合いで、113.80近辺からスタートしたドル円は114円台に上昇。欧州時間に入ると米金利の小幅上昇に反応し、欧州通貨を中心に主要国通貨が下落する局面でドル買い地合いとなり、ドル円は114.34(高値)まで上値を伸ばした。NY時間に入り米10年債金利が低下地合いの中、米国株式市場も一時急落し、リスクオフの円買い地合いとなりドル円は113.82(安値)まで下落。引けに掛けて米株価が値を戻す中で114.00近辺で引けるも、早朝「米上院共和党、法人税減税実施の1年先送り検討(ワシントン・ポスト)」との報道で113.80割れまで下落している。昨日のユーロドルはアジア時間は1.1610を軸に動意無い展開が続いた。欧州時間に入りドル買い地合いの中1.1600を割り込み1.1553(7月20日来の安値)まで下落。安値圏ではフォローの応酬となり揉み合うも、NY時間午後からはドル売りの流れの中1.1590近辺まで値を戻し引けた。米国時間午前「ECB、重要メンバー3人(クーレ・バイトマン・ビルロワドガロー)がQE期限設定しない決定に反対」とECB関係者のコメントも報じられたが、為替には特段影響が無かった。昨日の豪準備銀行政策決定会合(RBA)は市場予想通り1.50%の金利据置となり、声明文では前回は踏襲するものの「成長を楽観視」「低インフレに警戒感」とし豪ドル相場に影響は無かった。

【11/8】昨日はドル円はNYクローズ後の早朝につけた114.01が高値。ワシントン・ポスト紙の「米上院共和党、法人税減税実施の1年先送り検討」との報道で113.65まで下落するも、日経平均株価がマイナス幅を縮小する動きに併せ、その後113.80を軸に小動きとなった。欧米時間の為替市場では米税制改革の遅延懸念が再びテーマとなり、ドル円は113.40(安値)まで下落。NY午後は米株式市場の堅調推移となり、更に「法人税減税の開始が遅れる可能性排除せず・法人税率、来年のスタートが好ましい」とのムニューシン米財務長官のコメントが報道されると米長期金利も上昇。それを背景にドル円は113.90まで値を戻し引けた。昨日のユーロドル市場は終日を通して1.1579(安値)-1.1611(高値)と狭いレンジ内で推移。一方で英ポンドは、パテル英国国際開発相が辞任したことを受け



下落。幅広い通貨に対して売られ、ポンド円では149.80から148.60割れまで下落した。又、早朝ニュージーランド準備銀行(RBNZ)のオフィシャルキャッシュレートが発表され、政策金利は市場予想通りの1.75%と据置であったが、「2019年2Qに金利上昇と予想 - 従来19年3Q」「NZドル安持続的なら、貿易可能な製品のインフレ押し上げ」とタカ派な声明文となり0.6920→0.6970近辺までの急騰となった。

【11/9】昨日の東京時間のドル円は113.90近辺よりオープン。日経平均株価が寄り付きから23,000円を上抜け堅調に上昇。株価上昇に連れられドル円も114.07(高値)まで小幅上昇。しかし日経平均株価も一時、前日比468円高となるも、後場から一転。日経平均先物主導で急反落し、為替・金利・コモディティと波及しリスクオフ相場へ急転。その流れで円が幅広い通貨に対し買われ、ドル円では114.00から113.50割れまで下落した。(日経平均株価は東京後場だけで高低差800円の下落)欧州時間に入ると欧州株が全面安となり円が再び買われる展開となり、ドル円は113.30割れまで下落。その後はNY時間午前に独債を中心とした欧米債券利回り上昇を背景にドル円は113.69まで値を戻すも、午後「米上院共和党: 法人税減税を19年に先送り- 税制改革案を公表」との報道で、米長期金利低下、米株式市場も下落。為替市場はドル売りに傾斜し、ドル円は113.09(安値)まで下落した。引け間際「米下院歳入委が共和党の税制改革法案を可決一本会議で来週採決」との報道が伝わるとドル円は113.50越えまで値を戻し引けた。ユーロドルは東京時間・朝方付けた1.1586が安値。東京株式市場乱高下の中でドル売り、円買いの狭間でユーロドルはじり高となるも小幅推移。欧州時間に入り「欧州委員会: ユーロ圏の成長率見通しを上方修正」の報が欧州主要国債券市場で好感され、主要国債券利回り上昇。ユーロドルは1.1640越えまでラリーした後、一時1.16を再び割り込む場面があるも、NY午後からのドル売りの流れの中、1.1655(高値)まで値を伸ばし高値近辺で引けた。

【11/10】東京時間のドル円は、113.27-113.58の狭いレンジでの推移となった。本邦企業による5・10日のドル買いフローが入りつつも、米税制改革法案の先行き不透明感や187.29円安で引けた日経平均株価の軟調さがドル円の頭を抑えた。欧州時間には米10年債利回り上昇に連れて113.63(高値)をつけるも、日本株に続き欧州株が軟調となる中、円買い地合いとなり113円台前半まで反落。NY時間にはダウも軟調に推移する中、予想を下回る米11月ミシガン大学消費者マインド(97.8 / 予想100.9)を契機に更に円が買われ113.22(安値)まで値を下げた。引けにかけて米債利回りが上げ幅を拡大したことで113円台半ばまで戻した。東京時間のユーロドルは、1.16台半ばで動意なく推移。欧州時間は米長期金利が上昇しドルが買われる中1.1623の安値をつけるも、予想を上回る英9月鉱工業生産(前年比+2.5% / 予想+1.9%)を契機に欧州通貨買いとなり1.16代半ばまで再浮上。NY時間は軟調な米株や弱い米指標を受けてドル売りに転じ、1.1678(高値)まで上昇。その後は1.1665近辺までやや緩んで引けた。

II. 今週の予想

通貨	今週予想		コメント
	安値	高値	
ドル/円	112.50	114.80	レンジ
ユーロ/円	131.50	133.50	横ばい
ユーロ/ドル	1.1550	1.1700	横ばい

◆今週の予想

今週のドル円相場は、方向感の無いレンジ相場ながらも頭の重い展開を予想する。先週は週明け早々に114.73(先週高値)をつけたが、米法人税減税時期の2019年への先送り懸念が嫌気され、週を通じて軟調推移となった。今週も米税制改革法案の骨子である法人税減税実施時期が焦点である。実施時期への不透明感が増している中、法人減税実施が延期となった場合、株式市場を中心とした調整局面となり、為替市場ではドル売りに傾斜するものと考えられる。しかしながら米株式市場は米経済・雇用環境に裏打ちされた企業決算も良好なことから一時的な調整に留まり、為替市場でのドル売りも浅いものと考えられることからドル円の下値も限られよう。米経済指標では14日(火)米10月生産者物価指数、15日(水)米10月消費者物価指数、米10月小売売上が予定されており、12月利上げが確実視されるFOMC前の物価指標として注目が集まってはいるが、結果良好だった場合でも利上げは既定路線となっている為、115円を上抜けて上昇することも難しいと考える。

ユーロドルは引き続き横ばいを予想。先週後半は、欧州の良好な経済成長を背景にECB当局者からタカ派発言が相次ぎ、欧州金利上昇からユーロドルも堅調地合いとなった。今後も当局者からQE縮小に関するタカ派発言等ヘッドラインが出ればユーロをサポートする考えられる。一方イギリスは、12月までにEU離脱の移行プロセスを決定しその後EU側と貿易交渉を行う予定であるが、メイ政権閣僚の辞任が相次いでおり、政権への信頼が揺らいでいる様相。メイ首相への責任追及が強まれば、EU離脱交渉遅延への警戒感から欧州通貨全般が売られる局面ではユーロの上値を抑える要因となろう。

又、引き続き北朝鮮に加え、中東サウジアラビア情勢とその周辺国の地政学的リスクが煽っていることにも注意を要する。



Ⅲ. 経済指標カレンダー

日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
11月13日	OPEC月報			
				米・フィリピン首脳会談
	7:00	豪		デベル・RBA総裁補佐、発言
	9:10	米		ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁、発言
	18:00	欧		コンスタンシオECB副総裁、発言
	2:45	日		黒田日銀総裁、発言
	4:00	米	10月	月次財政収支
11月14日	11:00	中	10月	小売売上高(前年比)
	11:00	中	10月	鉱工業生産(前年比)
	16:00	独	第3四半期 速報値	GDP(季調済/前期比)
	16:00	独	10月 確報値	消費者物価指数(前年比)
	17:05	米		エバンス・シカゴ連銀総裁、発言
	18:00	欧		ラウデンシュレーガーECB専務理事、発言
	18:30	英	10月	消費者物価指数(前年比)
	18:30	英	10月	生産者物価指数(季調前、前月比)
	19:00	独	11月	ZEW調査(現状/期待)
	19:00	欧		イエレンFRB議長、ドラギECB総裁、黒田日銀総裁、カーニーBOE総裁、講演
	19:00	欧	第3四半期 速報値	GDP(季調済/前期比)
	22:15	米		ブラード・セントルイス連銀総裁、発言
	22:30	米	10月	生産者物価指数(前月比)
	3:05	米		ボスティック・アトランタ連銀総裁、発言
	11月15日	NAFTA再交渉、第5回協議(メキシコ、～21日)		
8:30		豪	11月	ウェストバック消費者信頼感(季調済/前月比)
8:50		日	第3四半期 速報値	GDP(季調済/前期比)
8:50		日	第3四半期 速報値	GDPデフレーター(前年比)
13:30		日	9月 確報値	鉱工業生産(前月比)
17:00		米		エバンス・シカゴ連銀総裁、発言
18:30		英	10月	失業率(社会保障受給)
18:30		英	10月	失業保険申請件数推移
18:30		英	7-9月	ILO失業率
19:00		欧		プラートECB専務理事、発言
21:00		米		MBA住宅ローン申請指数
22:30		米	10月	消費者物価指数(前月比)
22:30		米	11月	ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:30		米	10月	小売売上高速報(前月比)
11月16日		9:00	英	
	9:30	豪	10月	雇用者数変化
	9:30	豪	10月	失業率
	18:30	英	10月	小売売上高(除自動車燃料、前月比)
	19:00	欧	10月 確報値	消費者物価指数(前年比)
	22:30	米		新規失業保険申請件数
	22:30	米	11月	フィラデルフィア連銀景況
	22:30	米	10月	輸入物価指数(前月比)
	23:00	英		カーニーBOE総裁、発言
	23:10	米		メスター・クリーブランド連銀総裁、発言
	23:15	米	10月	鉱工業生産(前月比)
	3:10	米		カプラン・ダラス連銀総裁、発言
	5:00	欧		コンスタンシオECB副総裁、発言
	5:45	米		ブレイナー・FRB理事、発言
	6:45	米		ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、発言



日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
11月17日	17:30	欧		ドラギECB総裁、発言
	22:00	欧		バイトマン独中銀総裁、発言
	22:30	米	10月	住宅着工件数
	22:30	加	10月	消費者物価指数(前年比)

- ・この資料の無断での複写、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等／株式会社新生銀行 登録金融機関／関東財務局長(登金)第10号
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会